



# 総合型地域スポーツクラブの設置に関する調査・支援事業



## DATA

### ■主な連携先・メンバー

堺市文化観光局スポーツ部スポーツ推進課／堺体育協会／堺市スポーツ少年団／堺市ボランティアスポーツ指導者会／大阪府立大学／株式会社ブレイザーズスポーツクラブ／錦綾健康づくりクラブ／クラブ登美丘南

### ■活動地域

大阪府堺市

### ■活動期間

2017年度～2018年度

### ■活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業

## 活動の目的

- 1 総合型地域スポーツクラブの設置を図るために、堺市の各種団体が連携して調査研究し設置の支援を行う
- 2 現有の総合型地域スポーツクラブが自立するための各種支援を行う

## 連携にいたる経緯

総合型地域スポーツクラブは、国が全国の市町村に最低1つは設置を求めており、スポーツを通じたコミュニティ活性化の拠点である。開始当時、堺市には総合型地域スポーツクラブが2つしかなく、堺市第2次スポーツ推進計画に個別目標として掲げた「総合型クラブ数の増加(2020年度までに5か所)」を目標とし、各種団体と連携しながら新規創設に向けて検討し、実現を目指した。

## 活動内容

市内のスポーツ関係団体が集まり、総合型地域スポーツクラブを設置するために6つのテーマ(スポーツ少年団、小中学校施設開放事業、中学校運動部、スポーツ施設、クラブ・企業との連携、地域スポーツ指導者)を設定して、その現状を調査し、課題を検出した。それをもとに、総合型地域スポーツクラブ設置の可能性と方向性について4回にわたって検討を行った。

また、現有の錦綾健康づくりクラブ、クラブ登美丘南に対して、クラブを発展させていくための啓発講習会とスポーツ教室を開催した。新しい試みとして、堺ブレイザーズと連携して指導者を派遣してもらい、バレーボール教室を開催した。さらに、大阪エベッサによるバスケットボール教室など、プロスポーツとの連携による教室の有効性について検証した。

## 活動の成果

- 1 スポーツ少年団、地域スポーツクラブ等の既存の団体で、総合型地域スポーツクラブに移行できる可能性があることが明らかになった
- 2 総合型地域スポーツクラブの運営を支援する組織を構築する必要があることが分かった
- 3 現有のクラブに対して、プロスポーツクラブからの指導者派遣やプログラム提供の支援の有効性が明らかになった

## 今後の課題・目標

- 1 総合型地域スポーツクラブの運営を支援する組織について、具体的なモデルを提案する
- 2 指導者育成と派遣についてのシステムを構築する

## 教員紹介



人間健康学部 教授

西山哲郎  
Tetsuo Nishiyama

スポーツ社会学者として、スポーツの歴史や社会の他領域とのつながりを調べ、現状の問題点を批判したり、選手でも気づいていない価値を明らかにする研究を行っている。

ゼミ活動では、スポーツの新しい楽しみ方を提案したり、スポーツを通じて人々の生活を豊かにする方法を考える「スポーツプロモーション」を主なテーマとしているほか、学校運動部のオルタナティブとして総合型地域スポーツクラブの可能性を検討している。